



Intrepid Control Systems, Inc.

アプリケーションノート

Vehicle Spy3 データベース  
基礎編



(株) 日本イントリピッド・コントロール・システムズ

## 目次

1.	概要	3
2.	データベースの設定	3
3.	データベースの作成	6
4.	データベースのエクスポート	8
5.	データベースのインポート	9
6.	DBC から VSDB/WVDB ファイルへエクスポート	10
7.	その他	12
8.	変更履歴	12
9.	用語一覧	12

## 1. 概要

本資料は、当社 Vehicle Spy3(以下 VSpy3 と記します)でのデータベース設定、作成、インポート、エクスポートについて解説します。

## 2. データベースの設定

既にデータベースをお持ちの方は以下の手順により VSPY3 にデータベースを設定することができます。

### 1. 最初にプラットフォームを作成します

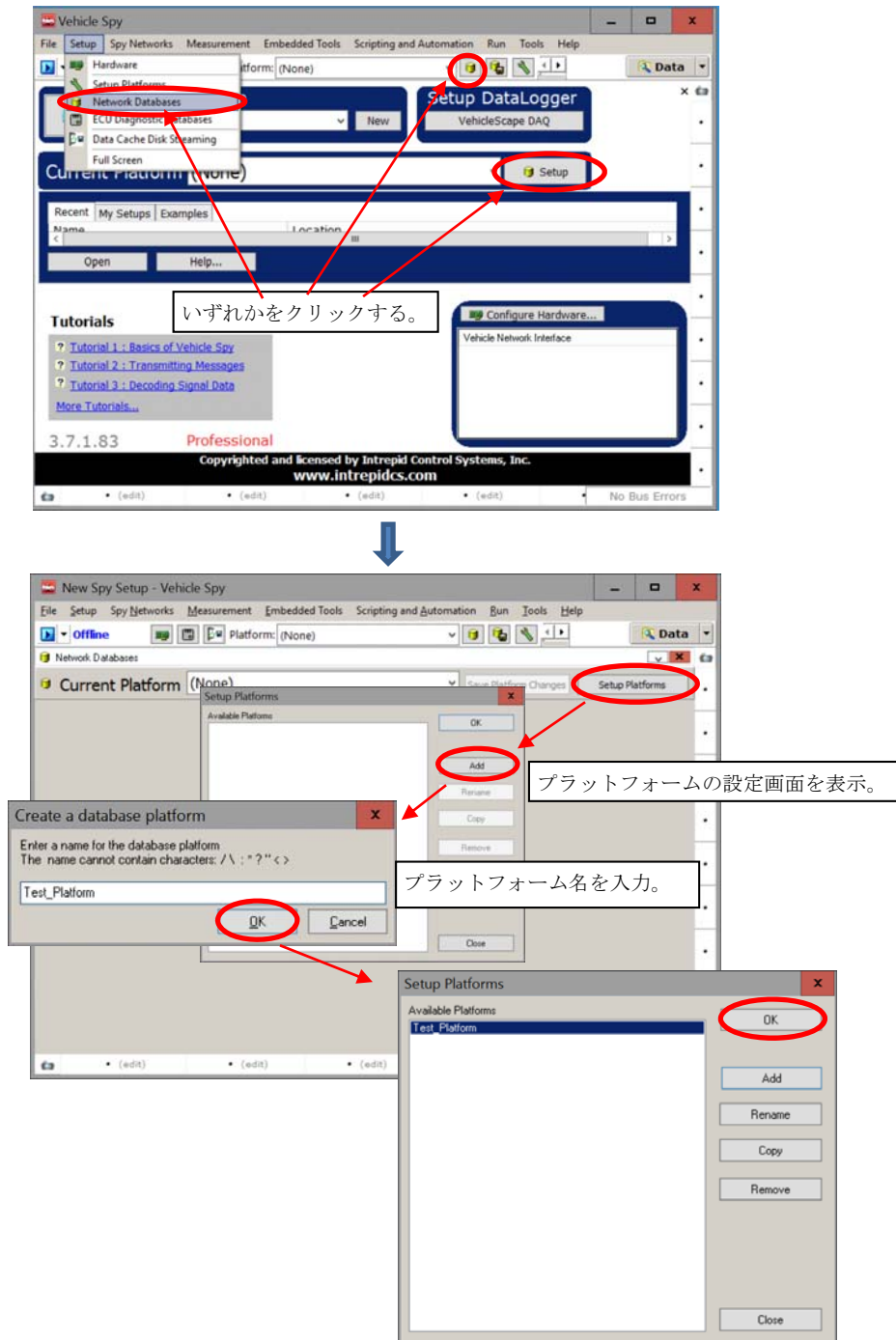


図 2.1

## 2. ネットワークタイプ及びデータベースタイプを指定します。

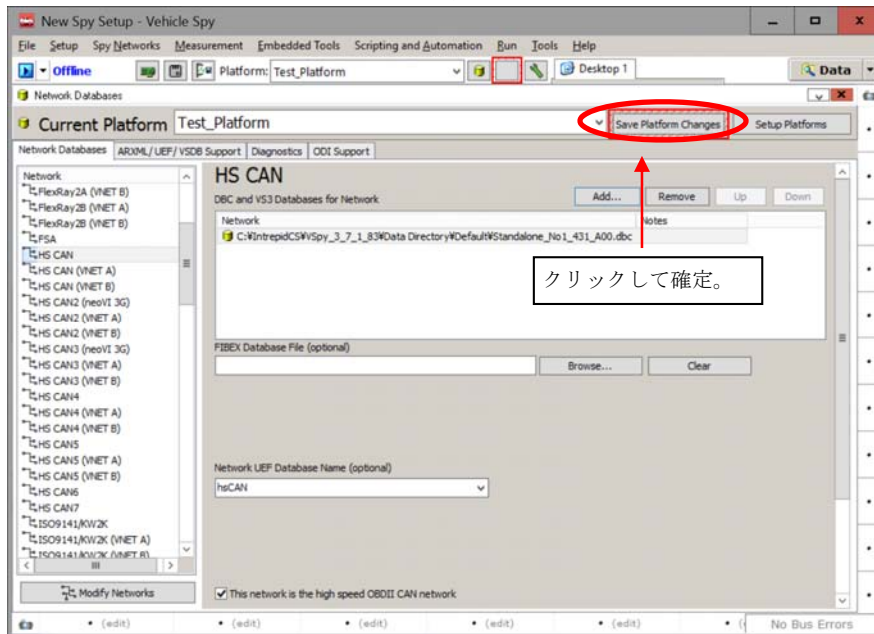
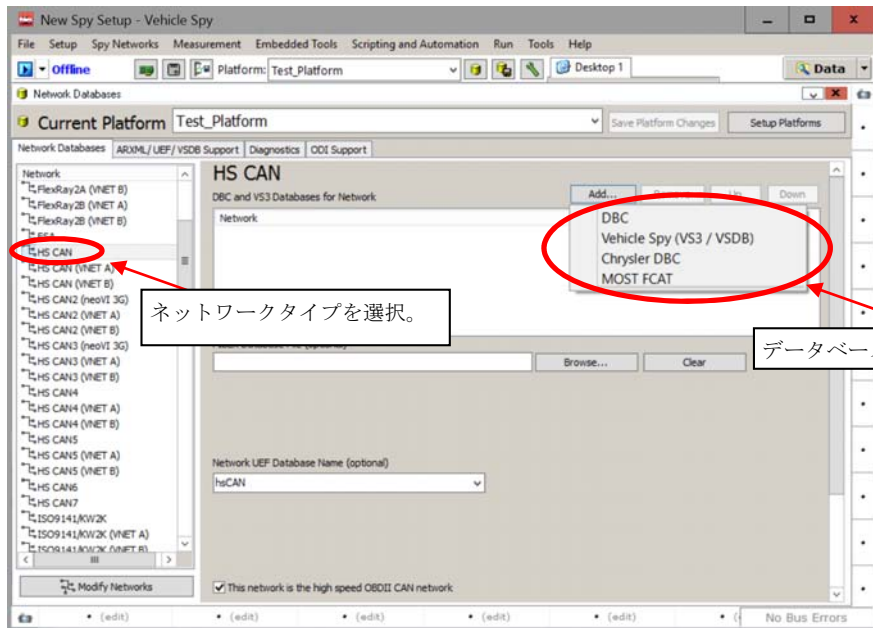


図 2.2

3. 実際にデータベースが設定されているか確認します。Message Editor ->Database へと移動。

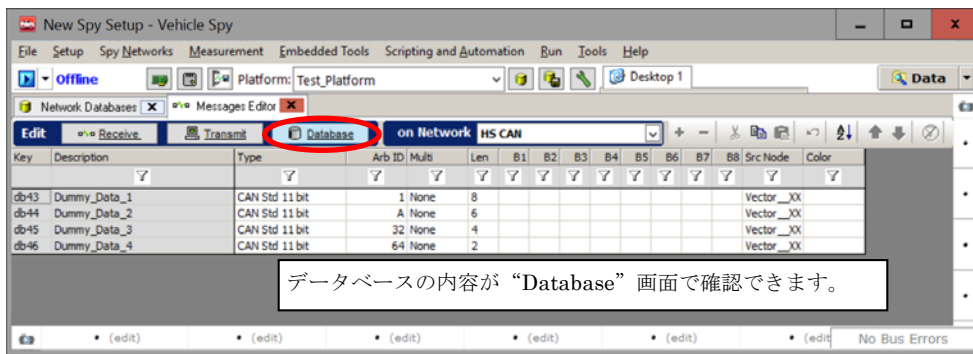
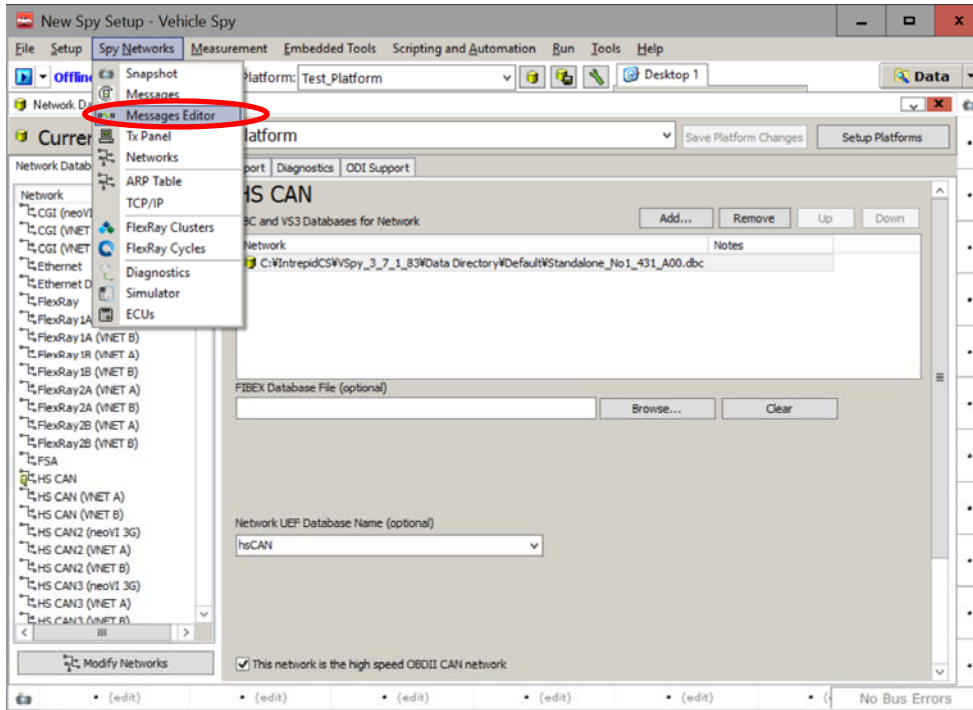


図 2.3

4. 以上でデータベースの設定は完了です。

### 3. データベースの作成

VSpy3 上でのデータベース作成手順を以下に記します。

1. “Messages Editor”を使用してメッセージを作成します。

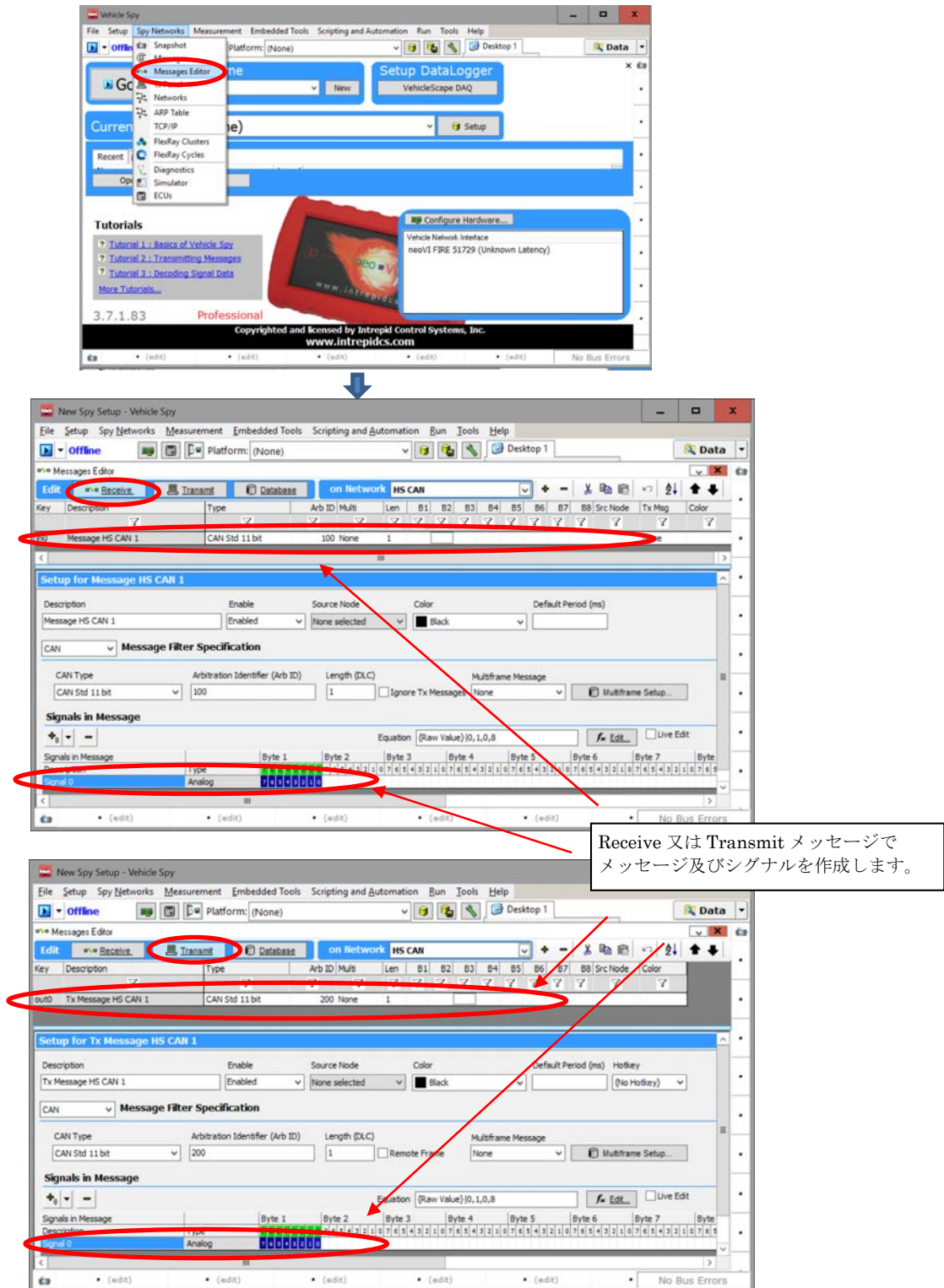
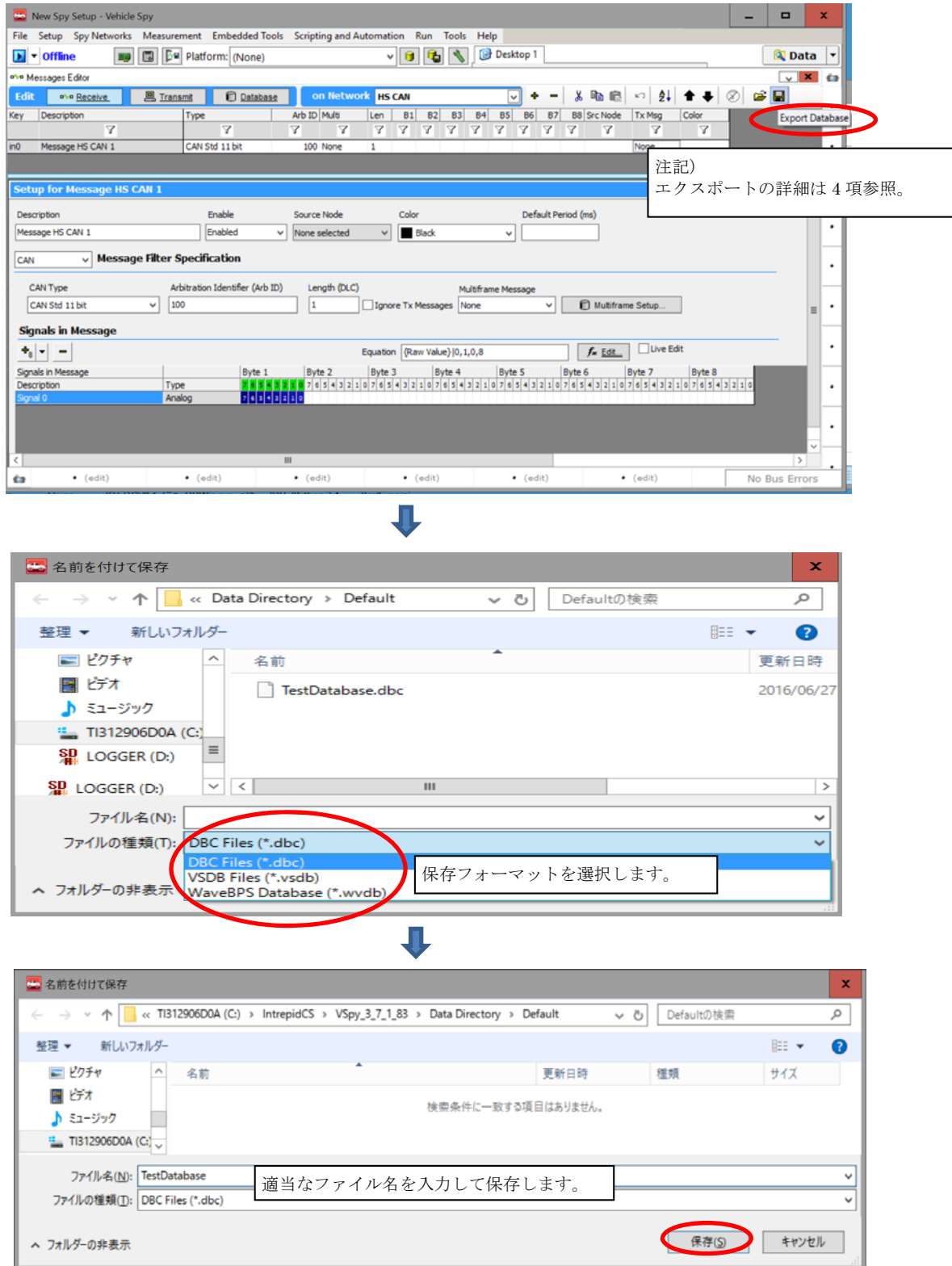


図 3.1

2. メッセージ及びシグナルを作成後、“Export Database”でデータベースを保存します（今回は DBC ファイルとします）。



3. 以上でデータベースが作成されファイルとして保存されました。



## 4. データベースのエクスポート

1. データベースのエクスポートは当社のファイルフォーマット（VSDB, WVDB(\*1)）及び DBC ファイルへエクスポートすることができます。

注記)

(\*1): WVDB フォーマットは当社 WaveBPS で使用されるフォーマットです。

2. 3 項記載の途中で作成したデータベースをエクスポートします。
3. Receive 画面で作成した内容と Transmit 画面で作成した内容をまとめてエクスポートすることはできません。それぞれ個別でエクスポートすることになります。

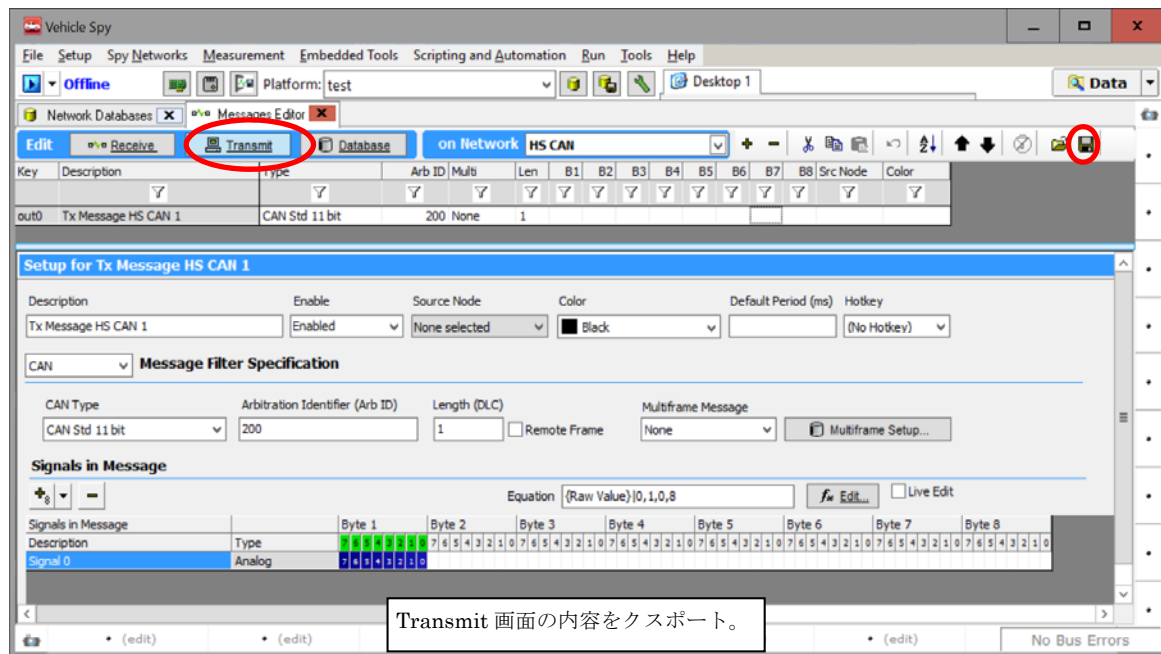
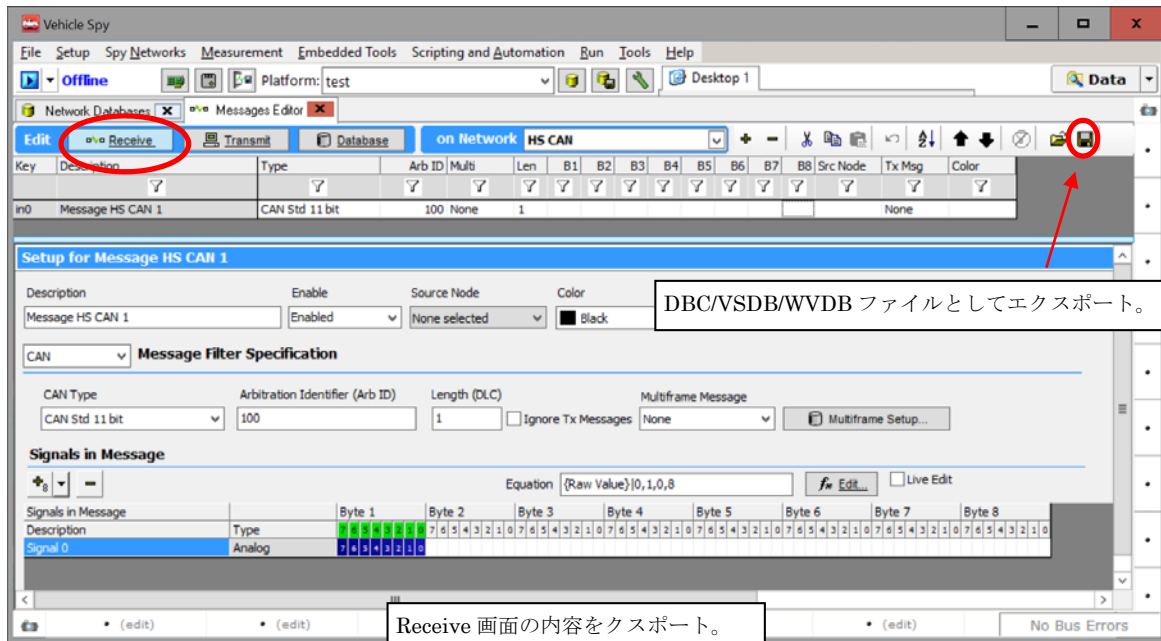


図 4.1

4. 以上がデータベースのエクスポートとなります。



## 5. データベースのインポート

1. データベースのインポートは当社のファイルフォーマット (VSDB, WVDB) のみのインポートとなります。DBC ファイルのインポートに関しては 2 項の“データベースの設定”を参照下さい。

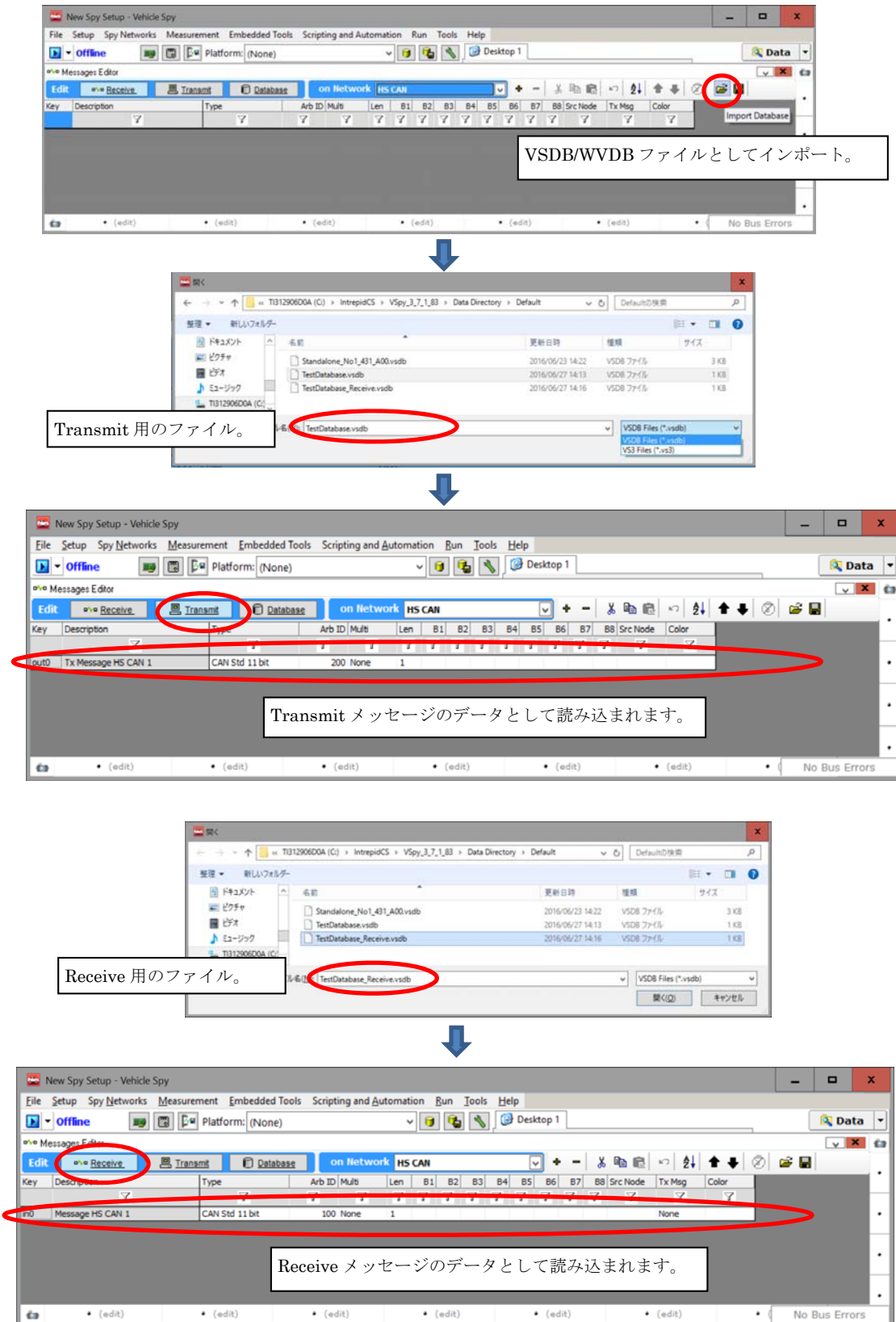


図 5.1

## 6. DBCからVSDB/WVDBファイルへエクスポート

1. DBC ファイルで Database を設定した後に、当社 VSDB/ WVDB 形式としてそのデータベースを保存することができます。

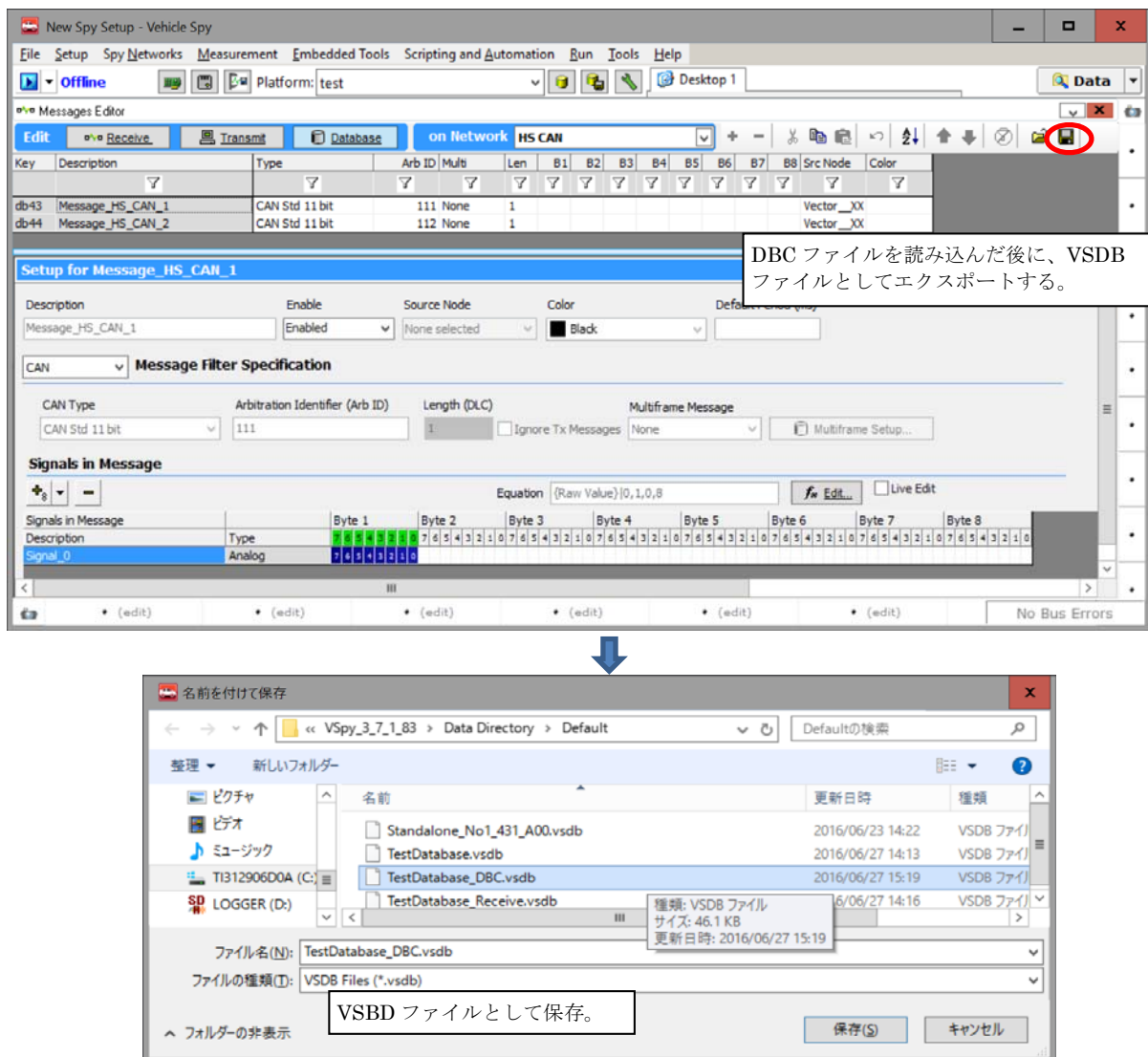


図 6.1

2. 6.項1で保存したファイル（VSDB ファイル）を読み込んで確認します。

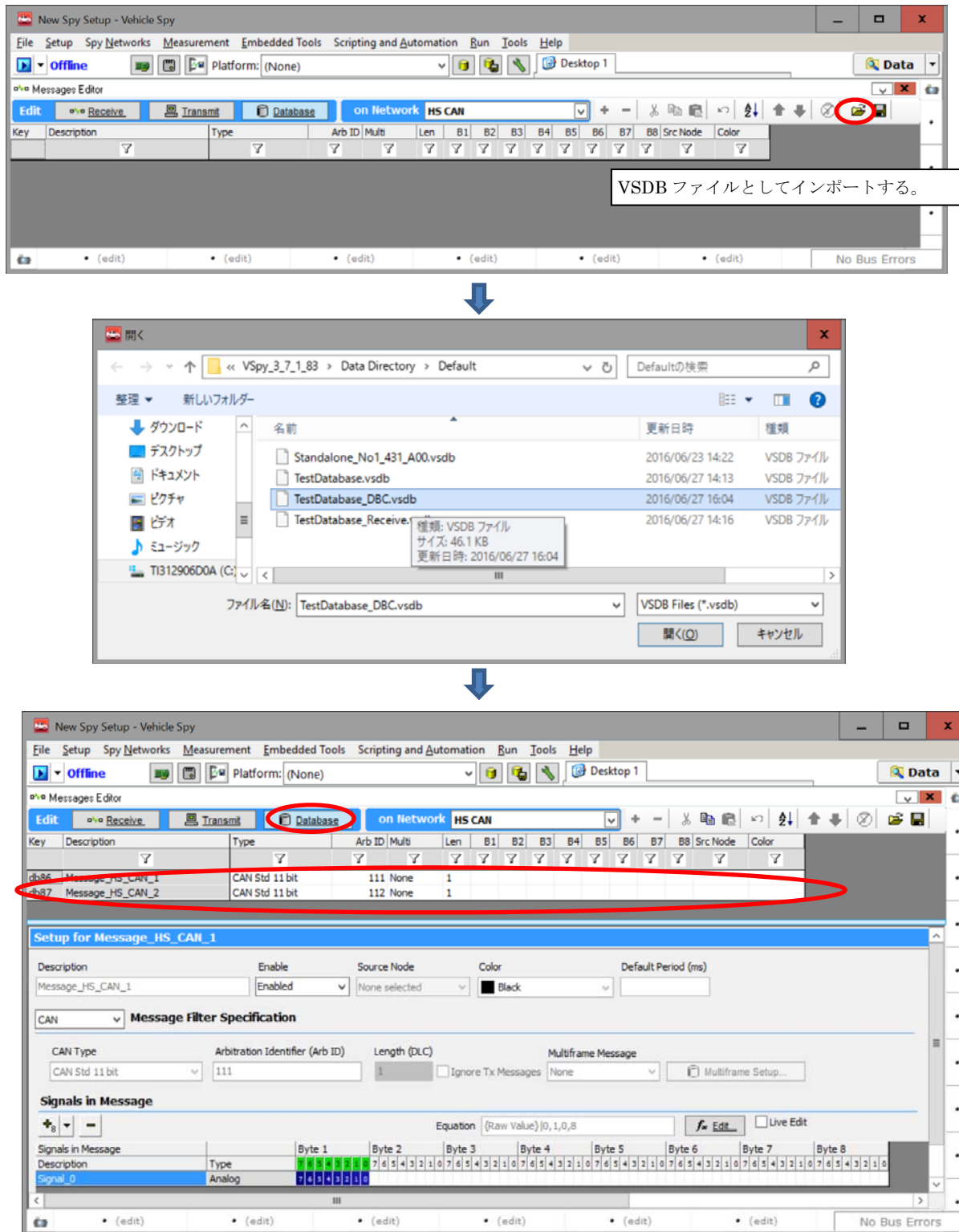


図 6.2

3. 6.項1で使用した DBC ファイルの内容と同じになっていることが確認できます。

## 7. その他

ご質問は [icsjapan@intrepidcs.com](mailto:icsjapan@intrepidcs.com) までメールでご連絡をお願いします。

## 8. 変更履歴

日付	バージョン	変更内容	作成者
2016/07/06	1.0	初版。	春川

表 8.1 変更履歴

## 9. 用語一覧

Vehicle Spy (VSpy3)	当社ソフトウェア製品名。3つのバージョンが存在します。 詳細は以下参照下さい。 <a href="http://www.intrepidcs.com/knownyourvspy.html">http://www.intrepidcs.com/knownyourvspy.html</a>

表 9.1 用語一覧